

区 分	情報デザイン総合科目－総合科目	担当教員	伏見 清香			
授業科目	情報デザイン概論					授業形態
英 訳	Introduction to Information Design					単独
配当年次	1年次	前期	必選別	必修	単位数	2単位
【授業の目的】 情報化社会において生活の中にあふれる情報と人間との関係を見つめる情報デザインは重要である。インターネット技術やマルチメディア環境の進展について理解する。また、デザイン領域における情報デザインの位置付けを理解し、デザイン思考の構築と視点の確立の契機とする。						
【授業の到達目標】 インターネット技術やマルチメディア環境の進展について理解し、デザイン思考の構築と視点の確立の契機とすることを目標とする。						
【授業の概要】 本講義は、視聴覚教材を使用し、多くの事例を参考にしながら講義形式で行う。マルチメディア情報とその利用について事例を交えながら紹介する。また、デザイン領域における情報デザインの事例を紹介し、生活における情報デザインの重要性を理解する。						
【準備学習(予習・復習)】 前回の授業内容をよく理解しておくこと、不明点は質問すること。						
【授業計画】 第 1回 情報のデジタル化 第 2回 画像のデジタル化 第 3回 静止画によるコンテンツ作成のための基礎技術 第 4回 音声や動画のデジタル化 第 5回 コンピュータグラフィックス 第 6回 メディアの歴史とデジタル化 第 7回 インターネットを通じた情報発信 第 8回 デザイン領域における情報デザイン 第 9回 情報収集と整理 第10回 わかりやすく使いやすいデザイン 第11回 情報の構造化 第12回 情報の具現化 第13回 情報の伝達 第14回 情報デザインの今後とユニバーサルデザイン 第15回 まとめ 期末試験						
【テキスト】 担当者が作成した教材をスクリーンに表示する。						
【参考書・参考資料等】						
【成績評価の方法等】 期末試験(50%)、レポート(20%)、授業中の課題(30%)で評価する。						

【履修要件等】

教員の免許状取得のための必修科目（高等学校 情報／マルチメディア表現及び技術（実習を含む。））

区 分	情報デザイン総合科目－総合科目	担当教員	全教員			
授業科目	情報デザイン実習 I				授業形態	
英 訳	Practical Information Design Training I				クラス分け	
配当年次	2年次	前期	必選別	必修	単位数	1単位
【授業の目的】 3年次からの情報デザインにおける各テーマに対する応用的な演習、実習を円滑に実行するために、基礎的な内容を中心に最低限必要な実習能力を養います。そのため、必要な内容すべてについて2年前期、後期の1年間かけて一通り実習します。						
【授業の到達目標】 テーマ毎に目標を設定してあるので、すべてのテーマに対して目標到達すること。						
【授業の概要】 情報デザインに関する複数のテーマを用意し、テーマ数に応じたグループに分けてテーマを変えながらすべてのテーマに関する実習を行います。						
【準備学習(予習・復習)】 テーマ毎に課題を設定するので、それに合わせて予習し、実習後は一通り復習しておきます。						
【授業計画】 第 1回 全体ガイダンス 第 2回～第7回 テーマグループ毎の実習1～6 第 8回 情報デザイン講演会 第 9回～第14回 テーマグループ毎の実習7～12 第15回 期末まとめ						
【テキスト】 テーマ毎に設定します。						
【参考書・参考資料等】 テーマ毎に必要なに応じて指定します。						
【成績評価の方法等】 レポート、課題提出(100%)で評価します。						
【履修要件等】 1年次の必修科目の履修を前提に実習をすすめます。必要に応じて1年次の復習しておきます。						

区 分	情報デザイン総合科目－総合科目	担当教員	全教員			
授業科目	情報デザイン実習Ⅱ				授業形態	
英 訳	Practical Information Design Training Ⅱ				クラス分け	
配当年次	2年次	後期	必選別	必修	単位数	1単位
【授業の目的】 3年次からの情報デザインにおける各テーマに対する応用的な演習、実習を円滑に実行するために、基礎的な内容を中心に最低限必要な実習能力を養います。そのため、必要な内容すべてについて2年前期、後期の1年間かけて一通り実習します。						
【授業の到達目標】 テーマ毎に目標を設定してあるので、すべてのテーマに対して目標到達すること。						
【授業の概要】 情報デザインに関する複数のテーマを用意し、テーマ数に応じたグループに分けてテーマを変えながらすべてのテーマに関する実習を行います。						
【準備学習(予習・復習)】 テーマ毎に課題を設定するので、それに合わせて予習し、実習後は一通り復習しておきます。						
【授業計画】 第 1回 全体ガイダンス 第 2回～第7回 テーマグループ毎の実習1～6 第 8回 情報デザイン講演会 第 9回～第14回 テーマグループ毎の実習7～12 第15回 期末まとめ						
【テキスト】 テーマ毎に設定します。						
【参考書・参考資料等】 テーマ毎に必要なに応じて指定します。						
【成績評価の方法等】 レポート、課題提出(100%)で評価します。						
【履修要件等】 1年次の必修科目の履修を前提に実習をすすめます。必要に応じて1年次の復習しておきます。						

区 分	情報デザイン総合科目－総合科目	担当教員	遠藤 麻里			
授業科目	プレゼンテーション論				授業形態	
英 訳	Presentation Design				単独	
配当年次	2年次 後期	必選別	選択	単位数	2 単位	
【授業の目的】 自らの研究や作品を他人にわかりやすく表現・発表できる力を身につけることを目的とする。						
【授業の到達目標】 プレゼンテーションの組み立て方について説明できる スライド作成の注意点を理解できる ポートフォリオの意義が理解できる						
【授業の概要】 さまざまなプレゼンテーションのタイプに合わせ、必要な情報の整理と編集から表現の技術までを学ぶ。プレゼンテーションソフトを用いたスライド制作技術や発表の技術を習得する。また、デザインや作品をファイルにまとめるポートフォリオの制作についても学ぶ。						
【準備学習(予習・復習)】 スライドやポートフォリオ作成のための素材準備をすすめること						
【授業計画】 第 1 回 ガイダンス 第 2 回 プレゼンテーションデザインの基本 第 3 回 素材加工の技術 (写真、画像) 第 4 回 ロジカルプレゼンテーションの理解 1 第 5 回 ロジカルプレゼンテーションの理解 2 第 6 回 プレゼンテーション課題の説明 第 7 回 プレゼンテーションの組み立て 第 8 回 スライドの制作 1 第 9 回 スライドの制作 2 第 10 回 プレゼンテーションと講評 第 11 回 エディトリアルデザインの技術 第 12 回 ポートフォリオ制作のための基礎知識 第 13 回 ポートフォリオの制作 1 第 14 回 ポートフォリオの制作 2 第 15 回 ポートフォリオの発表と講評						
【テキスト】 なし						
【参考書・参考資料等】 適宜資料を配布する						
【成績評価の方法等】 提出物 (60%)、発表内容 (40%)						
【履修要件等】 デザイン系科目を受講していることが望ましい。						

区 分	情報デザイン総合科目－総合科目	担当教員	全教員			
授業科目	コラボレーション演習				授業形態	
英 訳	Collaboration seminar					
配当年次	1～4 年次 前・後期	必選別	選択	単位数	4 単位	
<p>【授業の目的】 本大学の教育理念「信和・協同・実践」と情報デザイン学科のカリキュラムポリシーを具現化するために、デザインや情報技術を通じた地域貢献活動、各種の課外活動などを積極的におこなう学生を支援し、実践的なデザイン力、情報処理能力、自主性、コミュニケーション能力、企画力、リーダーシップなどを有する人材を育成する。</p>						
<p>【授業の到達目標】 学外・学内の様々な組織や人々と積極的に関わりながら、課題を発見し、デザインや情報技術による課題解決を提案するための基礎力を実践的に身につける。</p>						
<p>【授業の概要】 活動責任者（学科専任教員）の指導・監督のもとデザインや情報技術を通じた課題解決に関わる課外活動をおこない、その内容・活動時間に応じて単位が認定される。</p>						
<p>【準備学習(予習・復習)】 活動中およびその前後において、活動責任者との連絡を密にし、その指導・監督を仰ぐこと。</p>						
<p>【授業計画】</p> <p>1. 「演習計画書」の提出 活動学生が単位取得を希望する場合、所属する研究室、活動プロジェクト、クラブ・サークル、自主的な活動団体などの活動責任者（情報デザイン学科の専任教員）を通じ、活動グループ名・活動責任者名の他、活動の目的・活動期間・活動の概略・など必要事項を記載した「演習計画書」を提出する。なお、活動内容等に大きな変更のあった場合は、同計画書を再提出する。</p> <p>2. 「活動報告書」の提出 活動責任者が活動学生の単位認定を年度末に申請する場合、「活動報告書」を提出する。「活動報告書」には、活動学生の学生番号・氏名・活動の合計時間のほか、活動の概要、活動によって得られた成果などを記載する。</p> <p>3 審査と単位認定 提出された「演習計画書」と「活動報告書」および添付資料は、情報デザイン学科内において審査し、活動時間・内容に応じて、活動学生ごとに単位を認定する。なお、科目担当者は、各活動責任者との連絡、提出書類のとりまとめ、単位認定の原案作成などを担当する。</p>						
<p>【テキスト】 特に定めない</p>						
<p>【参考書・参考資料等】 特に定めない</p>						
<p>【成績評価の方法等】 成績評価は合否判定方式でおこなう。なお、合格の場合の取得単位数は、原則30時間の同一活動で1単位とし、半期2単位まで、合計4単位までの認定とする。</p>						
<p>【履修要件等】 単位認定時期は各学年後期ですが、集中講義扱いなので、科目履修登録は各学年前期におこなってください。</p>						

区 分	情報デザイン総合科目－総合科目	担当教員	若林 義啓			
授業科目	情報と職業				授業形態	
英 訳	Information and Vocation				単独	
配当年次	3年次 後期	必選別	選択	単位数	2単位	
【授業の目的】						
現代の情報社会ではあらゆる職業で情報化が進んでおり、インターネット普及から新たな職業が生まれている。情報社会で働くということは情報と職業についての知識が必要である。この授業では、仕事の中にコンピューターがどのように入ってきたかを学び、現在の情報と職業の状況とあらたに誕生した職業を学ぶ。情報化がもたらした長所と短所を学び、その危険性を理解することで、どのような職業に就いても情報を適切に扱うことができ、情報社会に参画する一人の人間として生計を立てることができるようになる。						
【授業の到達目標】						
1. 仕事の中にコンピューターが導入されていく歴史を知る。 コンピューターの開発の歴史と企業が大型コンピューターをどのように経営に利用してきたかを学び、オフィスまでコンピューターが普及していく経緯を理解する。						
2. ネットワークを利用した情報が仕事や生活に果たしている役割を理解する。 コンピューターによる経営の効率化・省力化、物流の最適化について学ぶ。生活の中で恩恵を受けているサービスとその仕組みを理解する。						
3. 情報化による仕事の効率化とリスクを理解する。 情報化により、個人が扱う情報量が飛躍的に大きくなり、仕事の効率が上がった一方で、トラブルが発生したときの被害の大きさも増大していることを学び、情報の取り扱いの重要性を理解する。仕事に就いてからだけでなく学生生活においても情報を慎重に適切に扱えるようになる。						
【授業の概要】						
基本的に毎回プリント教材を用いた講義形式で行い、必要に応じてコンピューターを使った演習を行う。授業中に随時テーマについて質問や小テストを行う。						
【準備学習(予習・復習)】						
授業では情報社会に起こっている問題を取り上げるので、情報に関わるニュースや報道を意識して見ること。しっかりノートにまとめ、復習すること。						
【授業計画】						
第 1回 職業の意義と職業社会						
第 2回 情報と職業とは						
第 3回 企業活動と情報システムの歴史						
第 4回 第一次産業における情報化と職業						
第 5回 第二次産業における情報化と職業						
第 6回 第三次産業における情報化と職業						
第 7回 情報社会の職業						
第 8回 インターネットによる新しいビジネスモデル						
第 9回 BTO、インターネットショッピング						
第10回 インターネットによる広告ビジネス						
第11回 社会基盤としての情報システム						
第12回 情報社会に対応した職業観						
第13回 情報化と事故、ヒューマンエラー						
第14回 情報社会で求められる職業倫理						
第15回 情報と職業、まとめ						
【テキスト】						
【参考書・参考資料等】						
駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明「IT Text 情報と職業 (改訂2版)」(オーム社)						

【成績評価の方法等】

小テスト (30%)、課題 (40%) 質疑応答 (30%) の総合評価とする。

【履修要件等】

区 分	情報デザイン総合科目－総合科目	担当教員	全教員		
授業科目	課題探求				授業形態
英 訳	Topics Study				複数
配当年次	3年次 後期	必選別	必修	単位数	2単位
<p>【授業の目的】 卒業研究または卒業制作の前準備として、具体的な課題について資料調査、情報整理の方法、プレゼンテーションなどの技術を学び、その課題を解決できる能力を育成するため、ゼミ単位で授業を行う。少人数できめ細かく指導を行う授業で、チュータのオフィスアワーも兼ねます。</p>					
<p>【授業の到達目標】 ゼミによって目標を設定する。</p>					
<p>【授業の概要】 3年前期末に各ゼミの特徴について説明があり、その内容を見て皆さんが卒業(研究・制作)の指導教員(ゼミ配属)を決定する。指導教員は、ゼミの特徴を生かした教育内容を教えるため、詳しい授業概要を知りたい人はゼミ室を訪問すると良い。ゼミの特徴に応じた内容で指導されますが、就職活動も始まり、社会人となる準備にもなる。そのため、この授業を通じて社会人基礎力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を養うように意識して授業を受けることが大切である。</p>					
<p>【準備学習(予習・復習)】 ゼミによって課題を設定します。</p>					
<p>【授業計画】 ゼミによって内容を設定します。</p>					
<p>【テキスト】 開講する前に各ゼミの指導教員が決定する。</p>					
<p>【参考書・参考資料等】 各ゼミの指導教員が決定する。</p>					
<p>【成績評価の方法等】 各ゼミの指導教員が決定する。</p>					
<p>【履修要件等】</p>					

区 分	情報デザイン総合科目ー総合科目	担当教員	全教員		
授業科目	卒業研究または卒業制作				授業形態
英 訳	Graduation Thesis or Graduation Work				複数
配当年次	4年次 通年	必選別	必修	単位数	5単位
<p>【授業の目的】 情報デザイン学科で学んだ様々なことを基本にして、選定した課題やテーマについて、発展的、創造的な研究・制作を1年間に渡って行う。教員や学生同士との交流を通して相互の能力を啓発しあい、最終的には努力した成果に自信を持って卒業してください。</p>					
<p>【授業の到達目標】 ゼミによって目標を設定する。</p>					
<p>【授業の概要】 指導教員のアドバイス、指導の下に、課題についての研究、制作活動を進め、論文または作品の形にまとめる。教わるだけの授業と違い、研究や制作での目標を達成する自主的な努力を通して個別の講義では身に着けにくい能力を養う。</p>					
<p>【準備学習(予習・復習)】 ゼミによって課題を設定する。</p>					
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ゼミへの配属、指導教員は原則として、課題探求と同じ。 個別またはグループなどでのテーマが決まるまでは、勉強会が中心となったり、自主的な調査研究が必要となる場合がある。 授業のように授業回数は決まっていない。指導教員からの直接指導がなくても自主的に大学に来て研究や制作をする。 研究や制作の進行状況を中間発表することがある。学外の作品展に応募したり、学会で発表するなどもある。 <p>最終的な論文や作品は、別に定められた期限や方法に従って指導教員に提出し、評価を受ける。また最後には、成果をプレゼンテーション(展示)する発表会などがある。</p>					
<p>【テキスト】 各ゼミの指導教員が必要に応じて決定する。</p>					
<p>【参考書・参考資料等】 各ゼミの指導教員が必要に応じて決定する。</p>					
<p>【成績評価の方法等】 各ゼミの指導教員が決定する。一般に得られた結果よりも、論文や制作の過程・努力を評価する。実験や制作で失敗したからと言っても、評価が悪くならない。</p>					
<p>【履修要件等】</p>					

区 分	情報デザイン総合科目 —資格支援科目	担当教員	全教員		
授業科目	情報資格 I			授業形態	
英 訳	Challenging License on Information, Part I				
配当年次	1～4年次 前・後期	必選別	選択	単位数	2単位
<p>【授業の目的】 大学生が就職活動をする際、資格を持っていることは一つのアピールポイントになり得る。資格取得のためには、ダブルスクールで学んだり、独自で勉強をするなどの努力が必要である。企業が採用を考える際には、資格を持っているという強みよりも、資格を得るためにした努力の過程などを評価してくれる場合もある。この様なことから、情報デザイン学科では、情報に関係する様々な資格の取得を推奨している。</p>					
<p>【授業の到達目標】 列記した資格について、1つを取得する。</p>					
<p>【授業の概要】 たくさんの資格があり、社会に出てからもそれらの多くの資格は役に立つ。これらのことを踏まえ、一般的な資格について、その概要を説明する。</p>					
<p>【準備学習(予習・復習)】 試験前には関連の本や過去問題集などをよく予習すること。受験後は自己採点等で実力を自己分析し、さらなる高度な資格受験に備える。</p>					
<p>【授業計画】 ここでは、下記の様な資格が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ITパスポート ・ シスコ技術者認定 (CCENT) <p>その他の資格も学科で検討し単位を認定することもある。</p>					
【テキスト】					
【参考書・参考資料等】					
<p>【成績評価の方法等】 ・ 資格取得の後、報告書と証明書（合格証、資格証明書等コピー提示）を提出し、学科で検討し単位認定する。</p>					
【履修要件等】					

区 分	情報デザイン総合科目 —資格支援科目	担当教員	全教員		
授業科目	情報資格Ⅱ			授業形態	
英 訳	Challenging License on Information, Part Ⅱ				
配当年次	1～4年次 前・後期	必選別	選択	単位数	2単位
<p>【授業の目的】 大学生が就職活動をする際、資格を持っていることは一つのアピールポイントになり得る。資格取得のためには、ダブルスクールで学んだり、独自で勉強をするなどの努力が必要である。企業が採用を考える際には、資格を持っているという強みよりも、資格を得るためにした努力の過程などを評価してくれる場合もある。この様なことから、情報デザイン学科では、情報に関係する様々な資格の取得を推奨している。</p>					
<p>【授業の到達目標】 列記した資格について、1つを取得する。</p>					
<p>【授業の概要】 たくさんの資格があり、社会に出てからもそれらの多くの資格は役に立つ。これらのことを踏まえ、一般的な資格について、その概要を説明する。</p>					
<p>【準備学習(予習・復習)】 試験前には関連の本や過去問題集などをよく予習すること。受験後は自己採点等で実力を自己分析し、さらなる高度な資格受験に備える。</p>					
<p>【授業計画】 ここでは、下記の様な資格が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報技術者試験 ・応用情報技術者試験 ・シスコ技術者認定 (CCNA) <p>その他の資格も学科で検討し単位を認定することもある。</p>					
【テキスト】					
【参考書・参考資料等】					
<p>【成績評価の方法等】 ・資格取得の後、報告書と証明書（合格証、資格証明書等コピー提示）を提出し、学科で検討し単位認定する。</p>					
【履修要件等】					